

市民オペラ

「ラ・ボエーム」



▲夜遅くまで、熱のこもった立ちげいこが続いています（5月11日）

出演から衣装、メイク、舞台作りなど、市民の皆さんとともに作り上げていく市制施行50周年記念事業・市民オペラ「ラ・ボエーム」。

7月17・18日の公演に向けて、合唱練習や衣装、舞台作りなどの準備も快調に進んでいます。今月号では、市民オペラ公演の概要と、着々と進む制作の様相などについてご紹介します。多くの市民が活躍する市民オペラを、ぜひご覧になってください。

オペラ「ラ・ボエーム」

パリに住む貧しい芸術家の卵たちの生活ぶりを背景に、若い恋人たちの純愛をテーマにした悲しい結末の青春物語です。笑い、悩み、悲しい別れ、そしてヒロインの病死まで、息もつかせぬ流れの中でオペラは展開します。どこにでもいる等身大の人間たちが繰り広げるドラマゆえに、思わず涙を誘われる作品です。作者であるプッチーニの叙情性と繊細さが見事に表現された傑作です。

「ラ・ボエーム」は、4幕で構成され、市民の皆さんは第2幕と第3幕に登場します。

「ラ・ボエーム」の見どころ

第2幕には、市民の皆さんが売り子や恋人たち、学生などの役を合唱しながら演技し、オペラの中で最も華やかな場面です。市民の皆さんの熱演にご期待ください。

また、詳しくは掲載できませんが、今までにない斬新な手法で会場のホワイトキューブを使用し、出演者の衣装も吟味した素材が使われます。

「ラ・ボエーム」は、全編イタリア語で演じられますが、今回の公演では、舞台の左右に設ける日本語の字幕スリーパーを見ながら観劇を楽しむことができます。

主なキャストインゲ

芸術監督 三枝 成彰
舞台美術・演出 日比野克彦
指揮 井上 道義
ミミ役 塩田美奈子
ロドルフォ役 小林 一男
合唱・黙役 白石キューブ合唱団
白石キューブジュニア合唱団
市民有志の皆さん
※広場や酒場の人々などを市民の皆さんが演じます。

管弦楽 仙台フィルハーモニー管弦楽団

市民オペラ公演に向けて

着々と準備が進んでいきます

衣装作り



衣装担当・永田デザイナーの指示は、「創造力を発揮して作ってみてください」のみ。各自が楽しみながら衣装作りを行っています。

【衣装作りに参加した皆さんから】
小学校の工作みたいで楽しいです。あのころを思い出します。自由なアイデア・発想を出すのが楽しいです。私たちの作った衣装をぜひ見に来てください！



舞台関係の打ち合わせ

(5月6日)

本番を想定した仮設舞台を作り、日比野氏や舞台監督の小栗氏を交えて、各場面の登場人物の動きを説明しながら舞台関係の打ち合わせが行われました。



大がかりな構造物を製作する

市建設職組合の山下組会長から

当組合では、延べ40人ぐらいい鉄パイプを組み上げるなど、大がかりな構造物を作ります。材料費のみのボランティアですが、市民総参加の市民オペラ。うちも頑張ります。

オペラ第2幕・第3幕に出演する皆さんの立ちげいこ

出演される方々は、キューブ合唱団に所属している方、学生時代に経験して以来の方、今回が初めての方などさまざまですが、市民オペラ成功に向けて、熱のこもった練習を夜遅くまで続けています。

合唱担当の皆さんから

演出助手の飯塚さんはとても楽しくさせてくれます。毎回動いていることが楽しいです。私たちの歌声をぜひとも聞いてほしいです！白石でこのような形でオペラをやるのは初めて。お見逃しなく！

【演出助手の飯塚さんから】
市民の皆さんは、立ちげいこを重ねるたびにオープンになってきて、表現がとても良くなってきています！



▶300%のエネルギーを出すつもりで！飯塚さんの指導にも力が入ります。

◆オペラ「ラ・ボエーム」のストーリー

第1幕 1830年ごろのパリの町はすれ。画家マルチェロ、詩人ロドルフォ、音楽家シヨナル、哲学者コッリーネの貧乏な4人は、アパートの屋根裏部屋で共同生活をしています。

アルバイトのお金も入ったので、クリスマス・イブぐらいいは、町に繰り出すことになりました。ロドルフォは後から合流することになり、一人で仕事をしていると、階下のお針子ミミが、消えたロソクの火をもらいに入ってきます。そして暗闇の中で手が触れ合い、二人は恋に落ちます。

第2幕 パリ、カルチエ・ラタンのカフェモミュス広場に集まる人々のにぎやかな声。カフェでミミたち5人が食事を始めたところに、マルチェロの昔の恋人ムゼッタが、荷物を抱えた老紳士をお供に別のテーブルにつきませ。始めは無視していたマルチェロもいたたまれなくなり、けんかになりますが、最後はムゼッタとよりを戻します。

第3幕 3カ月後の雪の降る明け方、アンフェール門の税関の前。胸を患っているミミが、酒場に住み込

第4幕 数カ月後、恋人たちと別れたロドルフォとマルチェロが過去を懐かしんでいると、ムゼッタがひん死のミミを連れてあわただしく飛び込んできます。皆はミミの薬代を作ろうと出ていき、残されたロドルフォとミミは固く抱き合います。しかし、ミミは再び激しく咳き込みます。ムゼッタからマフを渡されて、いったんは喜ぶミミでしたが、仲間たちの心づかいもむなしく、誰も気付かないうちにミミは静かに息を引き取ります。

スタッフとして参加しませんか？

市民オペラの準備は、6月になるとさらに急ピッチで進められます。市民オペラ実行委員の皆さんによると、「衣装作りや大道具、ヘアメイクなどは今からでも参加できます。多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています！」とのこと。

市民オペラ公演・スタッフ参加などのお問い合わせ先

市民オペラ実行委員会
(事務局：市庁舎2階振興課内)

☎22-1324 ☎22-1451
EX-ル：shinko@city.shiroishi.miyagi.jp

